

柔軟な運用で変化を続ける「アメリカの星」

JPモルガン・アメリカ成長株ファンド 愛称:アメリカの星
(為替ヘッジなし、年1回決算型) / (為替ヘッジなし、毎月決算型) 予想分配金提示型 /
(為替ヘッジあり、年1回決算型) / (為替ヘッジあり、毎月決算型) 予想分配金提示型



平素より、アメリカの星をご愛顧いただきまして誠にありがとうございます。

株式市場は常に様々な要因で変動しています。当運用戦略は、市場の先行きを見据えた柔軟なポートフォリオ調整により、様々な変動局面を経験しながらも長期的に良好なパフォーマンスを実現してきました。

足元、運用チームはどのような方針で市場と向き合っているのか、ポートフォリオの状況や今後の投資方針等についてお伝えします。

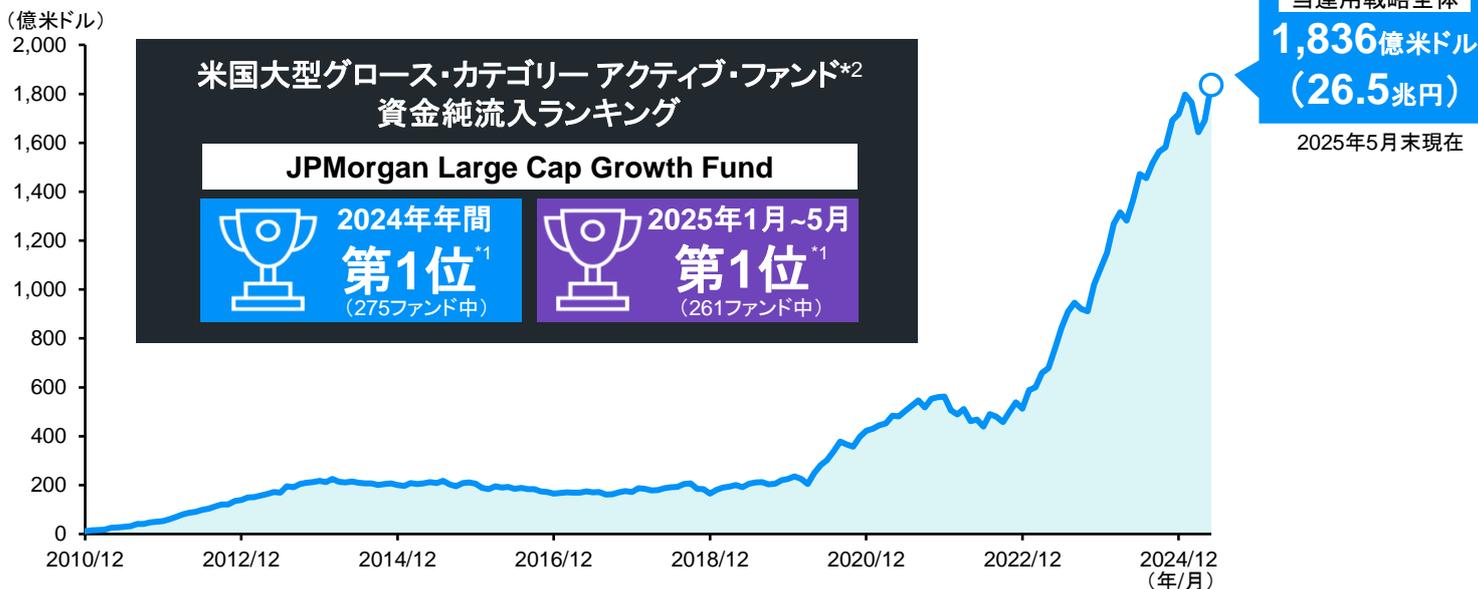
本レポートの構成

1. 米国株式市場およびアメリカの星の運用状況
2. ポートフォリオの状況
3. 今後の投資方針
4. 投資銘柄例のご紹介
5. ご参考: 当運用戦略の運用実績

米国の大型成長株アクティブ・ファンドで資金純流入ランキング第1位^{*1} 「JPMorgan Large Cap Growth Fund」

当運用戦略[※]を採用する米国籍ファンド「JPMorgan Large Cap Growth Fund」は、長期で相対的に良好な運用実績が評価され、米国において高い支持を得ています。(当運用戦略の運用実績については6ページをご覧ください。)

当運用戦略全体の純資産総額の推移



「JPMorgan Large Cap Growth Fund」は米国籍のファンドであり、日本での取り扱いはありません。上記のランキングは「JPMorgan Large Cap Growth Fund」のものであり、当ファンドのものではありません。ご参考として掲載しています。当運用戦略全体の純資産総額には当ファンドの設定日(2021年1月25日)以降の純資産総額が含まれます。

※ アメリカの星の投資先ファンドであるJPモルガン・ファンズーUSグロース・ファンドの運用戦略(米国大型グロース株式戦略)を「当運用戦略」といいます。

*1 米国のオープンエンドファンド(除く MMF、ファンド・オブ・ファンズ、フィーダーファンド)の大型グロース・カテゴリーのアクティブ・ファンドにおける資金純流入ランキング。2024年年間は2025年1月15日時点で確認可能な情報がある275ファンドを対象としたランキング。2025年1月~5月は2025年5月10日時点で確認可能な情報がある261ファンドを対象としたランキング。*2 モーニングスターのカテゴリー

出所: Morningstar Direct、ブルームバーグ、J.P.モルガン・アセット・マネジメント グラフ期間: 2010年12月末~2025年5月末 2025年5月末現在の当運用戦略全体の純資産総額は同日の為替相場にて円換算しています。上記のランキングはMorningstar Directの過去一定期間のデータであり、将来の投資成果を示唆・保証するものではありません。

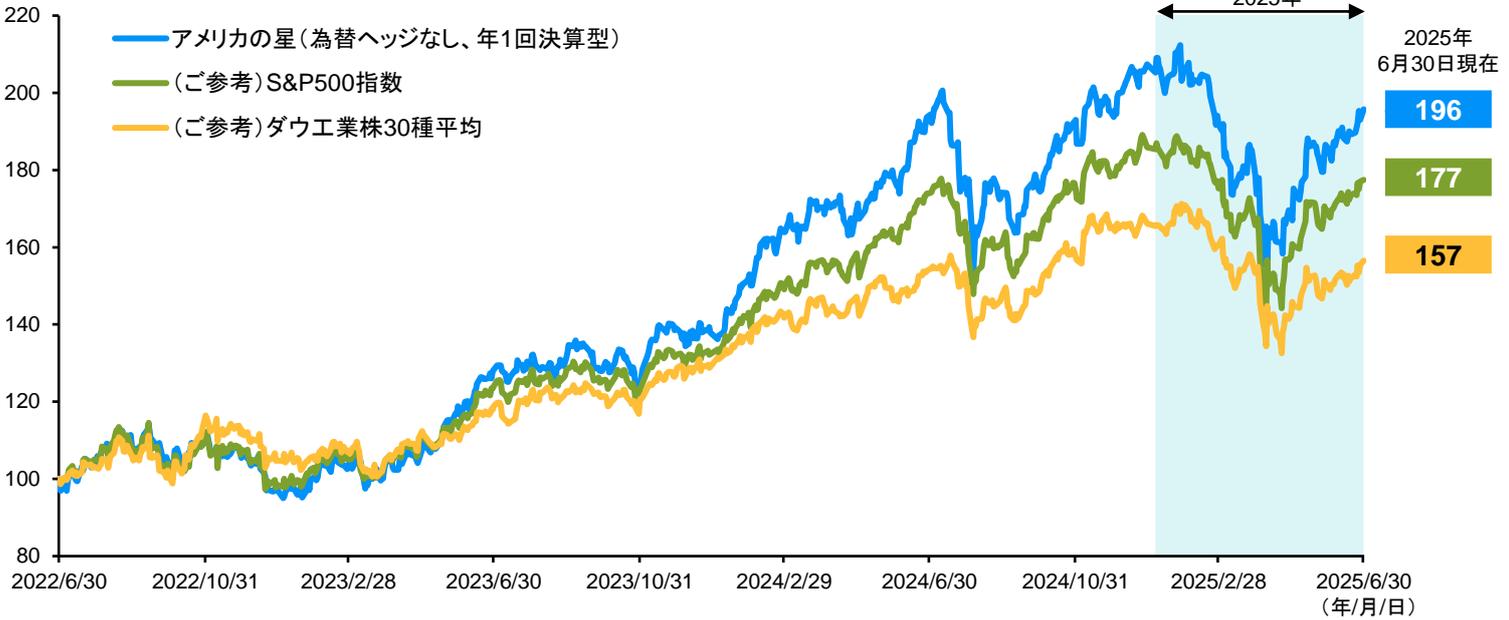
©2025 Morningstar. All Rights Reserved.ここに含まれる情報は、(1) Morningstar 及び/又はそのコンテンツプロバイダーの専有情報であり、(2)複製または配布(配信)することはできず、且つ(3)正確性、完全性または適時性は保証されていません。Morningstar もそのコンテンツプロバイダーも、この情報の使用から生ずる一切の損害または損失について責任を負いません。過去の実績は将来の結果を保証するものではありません。

柔軟な運用で変化を続ける「アメリカの星」

1. 米国株式市場およびアメリカの星の運用状況

アメリカの星(為替ヘッジなし、年1回決算型)と米国株式のパフォーマンス(3年間)

期間: 2022年6月30日～2025年6月30日(2022年6月30日を100として指数化)、円ベース



期間別騰落率 2025年6月30日現在、円ベース

	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年
アメリカの星 (為替ヘッジなし、年1回決算型)	5.1%	9.5%	-5.6%	1.1%	95.7%
(ご参考)S&P500指数	4.6%	7.1%	-4.6%	2.1%	77.4%
(ご参考)ダウ工業株30種平均	4.0%	2.1%	-5.8%	1.7%	56.5%
(ご参考)米ドル/円	0.1%	-3.4%	-8.1%	-10.2%	6.3%

※ 上記期間における各ファンドの騰落率は、7ページをご確認ください。

米国株式市場の動向(2025年年初来、2025年6月末現在)

- 2025年年初来の米国株式市場は、様々な要因によって変動の高まる局面が見られました。年初は、インフレ率の低下と米連邦準備制度理事会(FRB)の金利政策に対する期待に加え、米国政府が掲げる減税や規制緩和の恩恵も期待され、株式市場は上昇傾向にありました。
- しかし、1月末には、中国企業の生成AI(人工知能)が話題となり、大手テクノロジー企業のAI投資の持続性や利益化までの時間が注目され株価は調整局面入りし、さらに4月以降、米国の関税政策を巡る懸念から市場の変動性が高まりました。
- その後、米国と英国や中国との関税交渉が進展したことや、相互関税の発動延期が発表されたことなどが株価へのプラス要因となりました。さらに、主要米国企業の継続的な利益成長や今後の関税交渉や利下げへの期待感を背景に上昇基調が鮮明となり、S&P500指数、ナスダック総合指数が史上最高値を更新する展開となりました。

出所: J.P.モルガン・アセット・マネジメント、ブルームバーグ

アメリカの星は、分配金再投資基準価額を使用しています。分配金再投資基準価額は、信託報酬控除後であり、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出したものです。S&P500指数およびダウ工業株30種平均は、基準価額算出日の前営業日の指数値(いずれも配当込み)と同日の為替相場を使用しています。各指数は市場動向をご理解いただくために示したものであり、当ファンドのベンチマークではありません。

柔軟な運用で変化を続ける「アメリカの星」

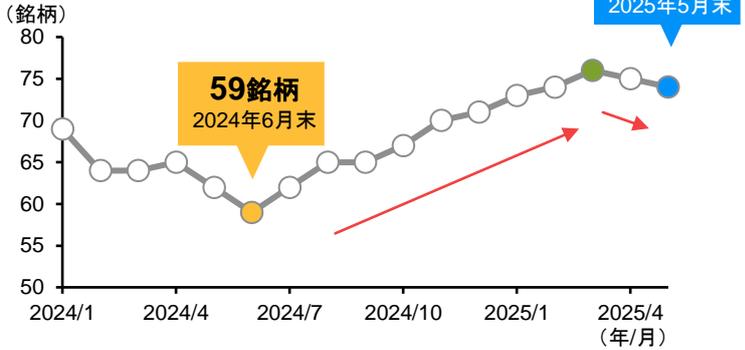
2. ポートフォリオの状況(2025年5月末現在)

組入銘柄数を増やして幅広い投資機会を追求する姿勢から、より確信度の高い銘柄への絞り込みを開始。過度な警戒感の和らぎを受け、情報技術の銘柄を一部買い戻してポジション調整

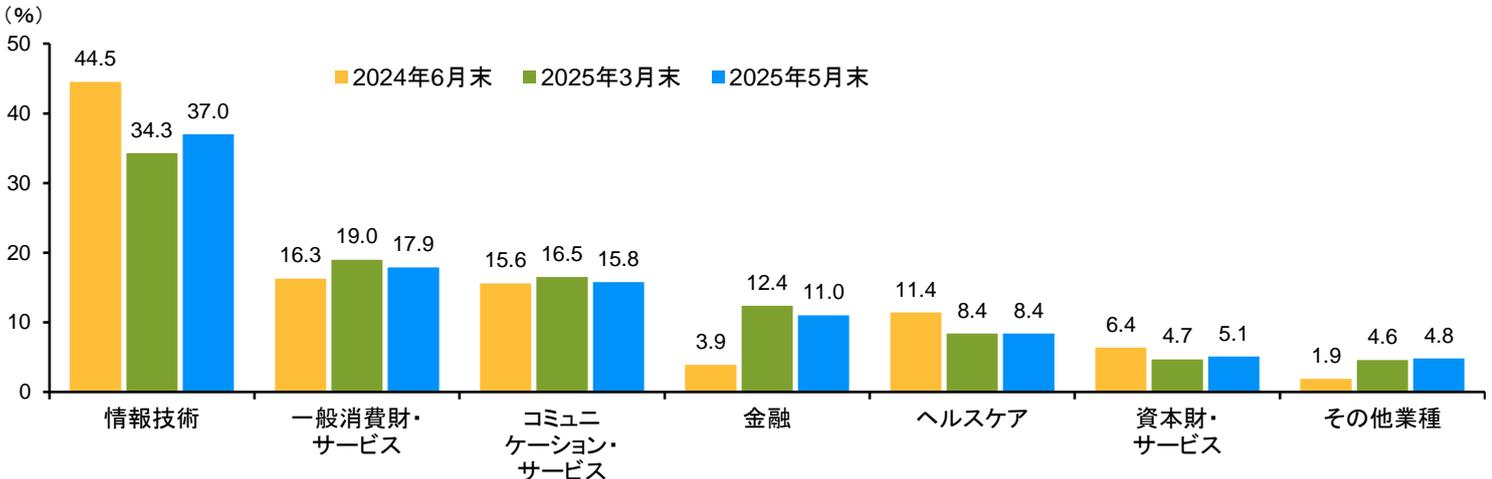
- 昨年の半ば以降、組入銘柄を増やして幅広い投資機会を追求してきましたが、不確実性への過度な警戒感が後退していることを受け、今後、市場環境が好転した際の対応として、より確信度の高い銘柄への絞り込みを開始しました。
- セクター別においても、昨年の半ばと比較して、情報技術セクターの比率を引き下げ、一方で一般消費財・サービスや金融などのセクター比率を引き上げたポートフォリオ運営を継続しつつも、情報技術セクターの銘柄を一部買い戻してポジション調整を行いました。

アメリカの星 | 組入銘柄数の推移

期間: 2024年1月末~2025年5月末



アメリカの星 | セクター別構成比率



主な投資行動(2025年3月~5月)

新規組入 チャールズ・シュワブ(金融)

証券取引、資産管理、金融アドバイザーサービス、銀行業務など、幅広い金融サービスを提供。特にオンライン取引部門において、市場のボラティリティが上昇する中で取引量が増え利益成長につながると期待し、新規に組入れました。

新規組入 アッヴィ(ヘルスケア)

免疫に関する薬として、特に乾癬(かんせん)の治療などに使われるスカイリジ、関節リウマチの治療などに使われるリンヴォックの長期的な売上の増加に期待。企業買収によるパイプラインの拡大にも期待し、新規に組入れました。

出所: J.P.モルガン・アセット・マネジメント

上記は、投資先ファンド「JPモルガン・ファンズーUS グロース・ファンド」のポートフォリオの情報を掲載しています。投資先ファンドは、外国籍であり日本での取り扱いはありません。セクター別構成比率は、組入有価証券(キャッシュ代替として短期運用を目的とするものを除く)を100%として計算しています。四捨五入の関係で合計が100%とならない場合があります。業種についてはGICS分類に基づき分類していますが、当社グループの判断に基づき分類したものが一部含まれる場合があります。上記銘柄は当社が独自の判断で抽出したものです。上記は個別銘柄の推奨を目的として示したのではなく、当該銘柄の株価の上昇およびファンドへの組入れを保証するものではありません。

新規組入 インターコンチネンタル取引所(金融)

NYSEを含む取引所を運営し、エネルギー、農作物、金利、株価指数の先物、オプションなど幅広く取り扱う。取引所関連の売上以外にも、債券データや住宅ローン指数関連の安定的な売上があり、事業収入が分散されていることなどを評価し、新規に組入れました。

全売却 セルスス・ホールディングス(生活必需品)

健康嗜好のエネルギー飲料を提供。前年同期比での売上の増加率の鈍化を背景に全売却しました。

柔軟な運用で変化を続ける「アメリカの星」

3. 今後の投資方針

多様な視点に基づき、高い成長性に着目した積極的な投資だけでなく、安定的な成長性も十分に考慮

- 当ファンドの銘柄選択においては、市場の期待値と運用チームが考えるファンダメンタルズの乖離に着目しています。市場が高い成長を期待する銘柄であっても、市場が安定的な成長を期待する銘柄であっても、それぞれの期待値を上回る成長があれば、そこに株価としての収益機会が生まれると考えています。
- 市場の不確実性が低下する場合には、市場が高い成長を期待する銘柄が選好される可能性があります。一方で景気後退がより意識される場合には、市場が安定的な成長を期待する銘柄（安定的に収益を稼ぐビジネスを展開する企業や収益源が分散されている企業など、景気変動の影響を受けにくいと考える企業）が選好される可能性があります。
- そのため、各セクターにおいて、それぞれのタイプの幅広い銘柄に着目し、多様な視点に基づいた銘柄選択により、ポートフォリオを構築することが、特にボラティリティ(変動性)の高い市場環境において重要であると考えています。

市場の予想以上に高い成長が期待できる銘柄を発掘、個別銘柄の分析の積み上げによる運用を継続

- 今後、米国の関税政策や世界情勢などの影響により市場の変動性が高まる環境下においては、多様な視点で幅広い投資機会を追求すると同時に、確信度の高い銘柄を魅力的な株価水準で積み増す機会であると考えています。
- 引き続き市場動向を注視しつつも、マクロや政治の方向感、市場トレンドの予想ではなく、個別銘柄の徹底した調査、分析の積み上げにより、市場の予想以上に高い成長が期待できる銘柄を厳選してポートフォリオを構築していく方針です。

ご参考: ポートフォリオ特性値 (2025年5月末現在)

	アメリカの星	(ご参考) S&P500指数
1株当たり利益(EPS)成長率(12カ月先)	15.6%	12.0%
売買回転率(過去12カ月)*	56.4%	—

* 過去3年間の平均値

出所: J.P.モルガン・アセット・マネジメント、FactSet

上記は、投資先ファンド「JPモルガン・ファンズーUS グロース・ファンド」のポートフォリオの情報を掲載しています。投資先ファンドは、外国籍であり日本での取り扱いはありません。S&P500指数は市場動向をご理解いただくために示したものであり、当ファンドのベンチマークではありません。

柔軟な運用で変化を続ける「アメリカの星」

4. 投資銘柄例のご紹介

セクター：一般消費財・サービス

高い成長に着目

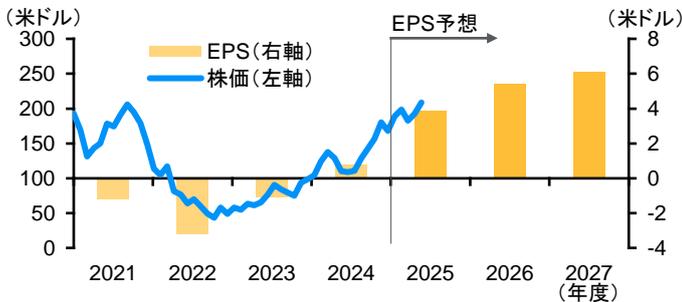
ドアダッシュ



- フードデリバリーでは米国第1位のシェアを有する競争優位性を評価。ホームセンターなどでの買い物・配達サービスも提供しており、特に郊外において競合対比で顧客の厚みに強みを持つ。
- 同業のデリバルー(英国)の買収を発表しており、複数の新たな国々への進出、シェアの拡大に期待。

同社の株価と1株当たり利益(EPS)の推移

株価期間：2021年1月末～2025年5月末、EPS期間：2021年度～2027年度



安定的な成長に着目

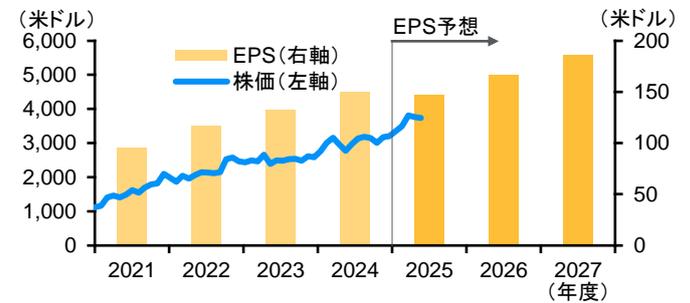
オートゾーン



- 自動車部品、アクセサリーの販売を行う。企業向けおよび消費者向けに事業を展開。
- 消費者向けには、顧客が自分で修理を行うための部品やアクセサリーを提供しており、車の修理が必要な場合には、景気動向に大きく左右されることなく、一定程度高めの価格が許容される傾向に着目。

同社の株価と1株当たり利益(EPS)の推移

株価期間：2021年1月末～2025年5月末、EPS期間：2021年度～2027年度



セクター：資本財・サービス

高い成長に着目

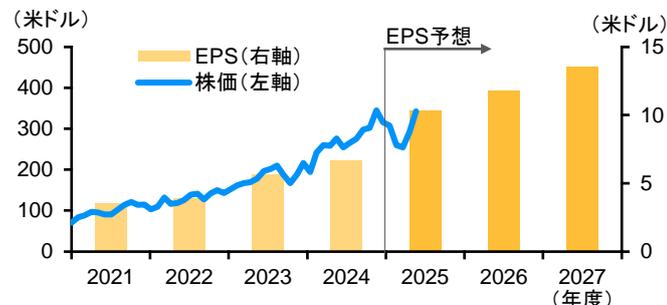
クアンタ・サービシズ



- 送電網や変電所の設計・建設、通信基地局の設置など電力インフラを提供。データセンターの拡大、AI活用の進展などに伴う、電力需要の増加に対応。
- 同社独自の職業訓練プログラムを運営し、質の高い電力線技術者を擁することも評価。

同社の株価と1株当たり利益(EPS)の推移

株価期間：2021年1月末～2025年5月末、EPS期間：2021年度～2027年度



安定的な成長に着目

ディア



- 農業機械分野における主要プレイヤー。トラクター、コンバインなど農業に必要な様々な機械の製造・販売を手掛ける。
- AIを活用した農業の自動化の進展による恩恵など中長期のストーリーに加えて、今後予想される買い替え需要にも期待。

同社の株価と1株当たり利益(EPS)の推移

株価期間：2021年1月末～2025年5月末、EPS期間：2021年度～2027年度



2025年5月末現在 出所：ブルームバーグ、Statista、J.P.モルガン・アセット・マネジメント EPSの予想はブルームバーグ集計のコンセンサス予想です。業種についてはGICS分類に基づき分類していますが、当社グループの判断に基づき分類したものが一部含まれる場合があります。上記銘柄は当社が独自の判断で抽出したものです。上記は個別銘柄の推奨を目的として示したのではなく、当該銘柄の株価の上昇およびファンドへの組入れを保証するものではありません。投資銘柄の中には、同期間の株価騰落率がマイナスになったものがあります。銘柄例についての記載は、作成時点において確認可能な情報に基づき記載しています。写真はイメージです。

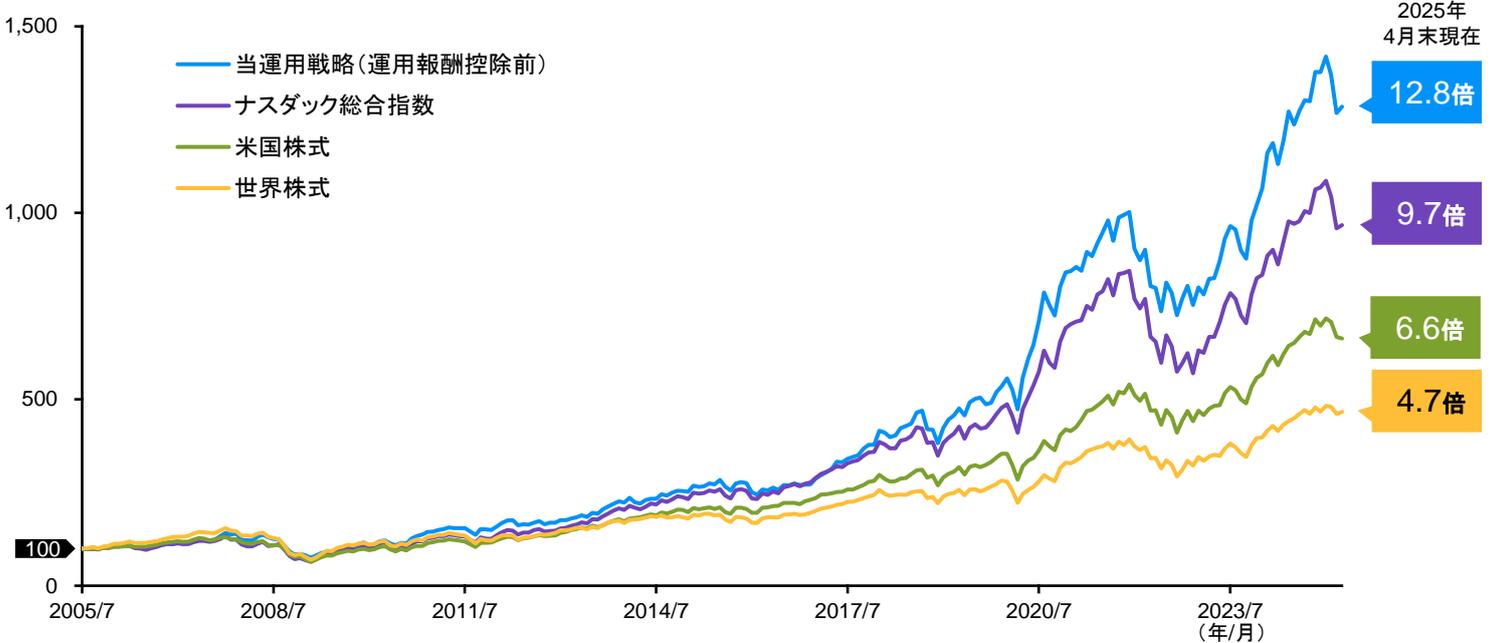
柔軟な運用で変化を続ける「アメリカの星」

5. ご参考：当運用戦略の運用実績

- 当運用戦略は長期で見て、米国株式や世界株式、またテクノロジー銘柄の比率が高いナスダック総合指数をも大きく上回る良好なパフォーマンスを実現しています。
- 主な株式指数と比べて、リスク対比で高いリターンを獲得してきました。

【ご参考】当運用戦略と主な株式指数のパフォーマンス推移

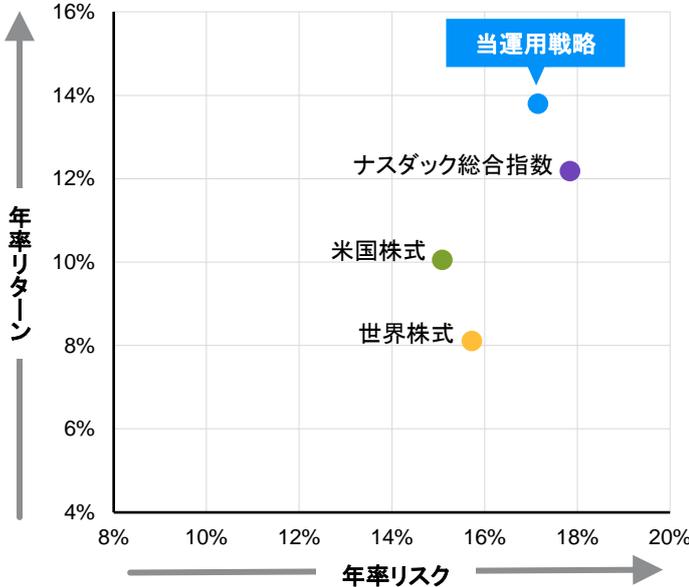
期間：2005年7月末～2025年4月末（2005年7月末を100として指数化）、米ドルベース



【ご参考】当運用戦略と主な株式指数のリスクおよびリターン

期間：2005年7月末～2025年4月末、米ドルベース

※当運用戦略は運用報酬控除前



	リターン (年率)	リスク (年率)	リターン/リスク*
● 当運用戦略	13.8%	17.1%	0.80
● ナスダック総合指数	12.2%	17.8%	0.68
● 米国株式	10.1%	15.1%	0.67
● 世界株式	8.1%	15.7%	0.52

* リターン/リスクとは、取ったリスクに対するリターンの大きさのことです。この数値が高いほどリターンの獲得効率つまり投資効率が良いということを意味します。

当ファンドの運用チームの長期の運用実績を示すために、運用戦略(コンポジット、同じ運用戦略を採用するファンド等のデータを集計したものであり、投資家が直接投資できるものではありません)のパフォーマンスを掲載しています。運用戦略(コンポジット)のパフォーマンスは、当ファンドのパフォーマンスではありません。

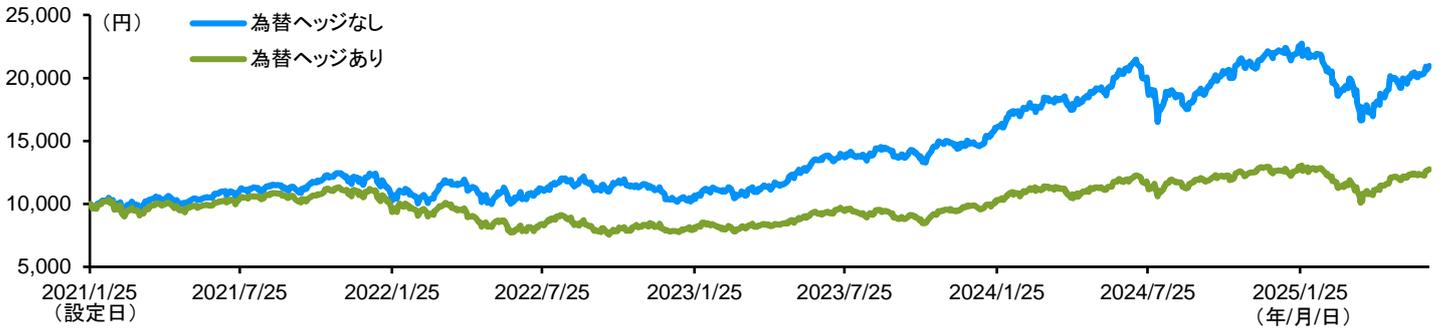
米国株式：S&P500指数、世界株式：MSCI ACWIインデックス、株式指数はすべて配当込み。掲載した株式指数は市場動向をご理解いただくために示したものであり、当ファンドのベンチマークではありません。

柔軟な運用で変化を続ける「アメリカの星」

JPモルガン・アメリカ成長株ファンド 設定来の運用実績(2025年6月30日現在)

(為替ヘッジなし、年1回決算型) / (為替ヘッジあり、年1回決算型)

分配金再投資基準価額の推移



基準価額

	為替ヘッジなし	為替ヘッジあり
2025年6月30日現在	20,952円	12,745円

期間別騰落率

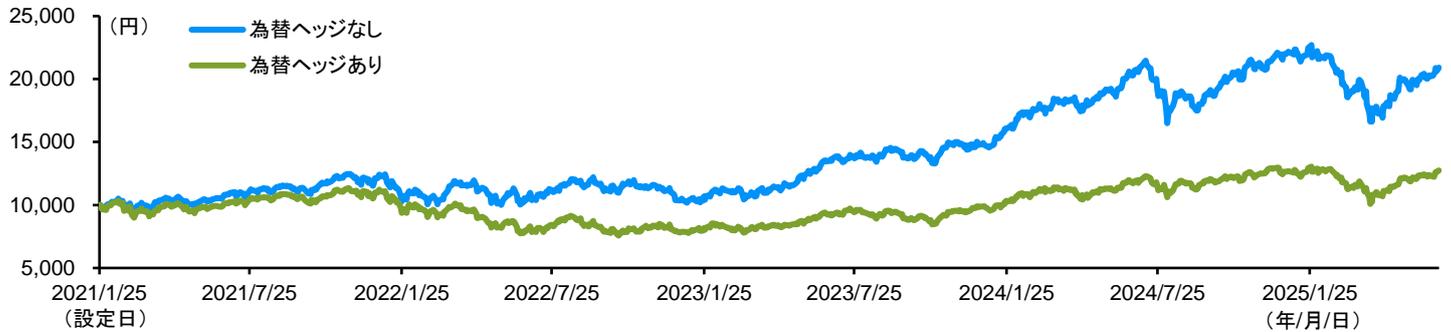
	為替ヘッジなし	為替ヘッジあり
1か月	5.1%	4.5%
3か月	9.5%	12.2%
6か月	-5.6%	0.5%
1年	1.1%	7.0%
3年	95.7%	58.8%
設定来	109.5%	27.5%

分配金(1万口当たり、税引前)

直近4期	為替ヘッジなし	為替ヘッジあり
第1期(2022年1月)	0円	0円
第2期(2023年1月)	0円	0円
第3期(2024年1月)	0円	0円
第4期(2025年1月)	0円	0円
設定来累計	0円	0円

(為替ヘッジなし、毎月決算型) 予想分配金提示型 / (為替ヘッジあり、毎月決算型) 予想分配金提示型

分配金再投資基準価額の推移



基準価額

	為替ヘッジなし	為替ヘッジあり
2025年6月30日現在	11,186円	10,789円

期間別騰落率

	為替ヘッジなし	為替ヘッジあり
1か月	5.1%	4.5%
3か月	9.4%	12.2%
6か月	-5.7%	0.4%
1年	1.0%	7.0%
3年	95.2%	58.4%
設定来	109.0%	27.3%

分配金(1万口当たり、税引前)

直近5期	為替ヘッジなし	為替ヘッジあり
第49期(2025年2月)	300円	100円
第50期(2025年3月)	0円	0円
第51期(2025年4月)	0円	0円
第52期(2025年5月)	100円	0円
第53期(2025年6月)	100円	0円
設定来累計	7,500円	1,800円

出所: J.P.モルガン・アセット・マネジメント 期間: 2021年1月25日(当ファンドの設定日)~2025年6月30日 基準価額は、信託報酬控除後です。分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出したものです。騰落率は、分配金再投資基準価額にて計算しています。騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。上記は過去の実績であり、将来の成果を保証するものではありません。また、必ず分配を行うものではありません。

柔軟な運用で変化を続ける「アメリカの星」

ファンドの特色

1 主として米国の株式に投資します。

- 主として米国の企業の株式に投資し、資産の中長期的な成長を目指します。
- カナダの株式にも投資する場合があります。
- 米国の株式に投資する投資先ファンド「米国株式ファンド」の組入比率を高位に保つとともに、円建ての公社債に投資するマネープール・ファンドにも必ず投資します(本ページ下部の枠内注記ご参照)。

2 J.P.モルガン・アセット・マネジメントのグローバルなネットワークを活用します。

3 決算回数と為替ヘッジの有無が異なる、4つのファンドから選ぶことができます。

- 販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

4 以下のとおり収益の分配を行います。

- 決算回数によって、収益分配方針が異なります。

年1回決算型	年1回の決算時(1月25日(休業日の場合は翌営業日))に分配金額を決定します。														
毎月決算型 予想分配金 提示型	<p>毎月25日(休業日の場合は翌営業日)の決算時に分配を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 分配対象額の範囲内で、決算日の5営業日前の基準価額(受益権1万口当たり)に応じて、原則として以下の金額の分配を行います。ただし、市況動向、残存信託期間等により、以下と異なる金額となる場合があります。また、必ず分配を行うものではありません。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>決算日の5営業日前の基準価額(受益権1万口当たり)</th> <th>分配金額(受益権1万口当たり、税引前)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10,500円未満</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>10,500円以上11,000円未満</td> <td>100円</td> </tr> <tr> <td>11,000円以上12,000円未満</td> <td>200円</td> </tr> <tr> <td>12,000円以上13,000円未満</td> <td>300円</td> </tr> <tr> <td>13,000円以上14,000円未満</td> <td>400円</td> </tr> <tr> <td>14,000円以上</td> <td>500円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※分配を行うことにより基準価額は下落します。そのため、次回決算時の分配金額は異なる場合があります。 ※基準価額が上記の一定の水準に一度でも到達すればその水準に応じた分配を継続する、というものではありません。 ※決算日の5営業日前から決算日までの間に基準価額が急激に変動した場合等、基準価額水準や市況動向等によっては委託会社の判断で上記とは異なる分配金額となる場合や分配が行われない場合があります。</p>	決算日の5営業日前の基準価額(受益権1万口当たり)	分配金額(受益権1万口当たり、税引前)	10,500円未満	0円	10,500円以上11,000円未満	100円	11,000円以上12,000円未満	200円	12,000円以上13,000円未満	300円	13,000円以上14,000円未満	400円	14,000円以上	500円
決算日の5営業日前の基準価額(受益権1万口当たり)	分配金額(受益権1万口当たり、税引前)														
10,500円未満	0円														
10,500円以上11,000円未満	100円														
11,000円以上12,000円未満	200円														
12,000円以上13,000円未満	300円														
13,000円以上14,000円未満	400円														
14,000円以上	500円														

ただし、必ず分配を行うものではありません。

販売会社によっては、どちらか一方のファンドのみの取扱いとなる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

5 「為替ヘッジなし」は為替ヘッジを行いません。「為替ヘッジあり」は米ドル建ての資産について為替ヘッジを行います。

- 米国株式ファンドを通じて、主として米ドル建ての株式に投資します。

資金動向、市況動向、経済情勢、投資環境等の変化に対応するために、やむを得ない事情がある場合には、上記にしたがった運用が行えないことがあります。

本資料では「JPモルガン・アメリカ成長株ファンド(為替ヘッジなし、年1回決算型)／(為替ヘッジなし、毎月決算型)予想分配金提示型／(為替ヘッジあり、年1回決算型)／(為替ヘッジあり、毎月決算型)予想分配金提示型」を総称して、「JPモルガン・アメリカ成長株ファンド」もしくは「当ファンド」または「アメリカの星」といいます。当ファンドは、決算回数に応じてそれぞれ「年1回決算型」、「毎月決算型 予想分配金提示型」、または為替ヘッジの有無に応じてそれぞれ「為替ヘッジなし」、「為替ヘッジあり」の呼称を使う場合があります。また、当ファンドの投資先ファンドであるJPモルガン・ファンズーUSグロース・ファンドの運用戦略(米国大型グロース株式戦略)を「当運用戦略」といいます。

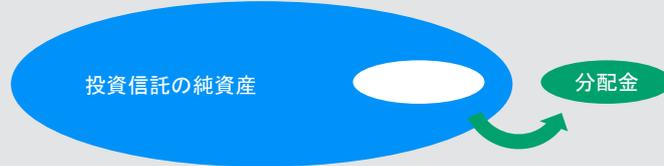
当ファンドでは、ベビーファンドの資金をマザーファンドに投資し、さらにマザーファンドはその資金を2つの投資先ファンドに投資するファンド・オブ・ファンズ方式で、投資先ファンドが実際に有価証券に投資することにより、その実質的な運用を行います。投資先ファンドである「JPモルガン・ファンズーUSグロース・ファンド」の各シェアクラスを結合したファンド全体または、その「Iクラス(円建て)」、「IIクラス(円建て、円ヘッジ)」を「米国株式ファンド」といい、投資先ファンドである「GIMジャパン・マネープール・ファンドF(適格機関投資家専用)」を「マネープール・ファンド」といいます。「当ファンドの投資先ファンド」とは「米国株式ファンド」を指します。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

柔軟な運用で変化を続ける「アメリカの星」

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託で分配金が支払われるイメージ

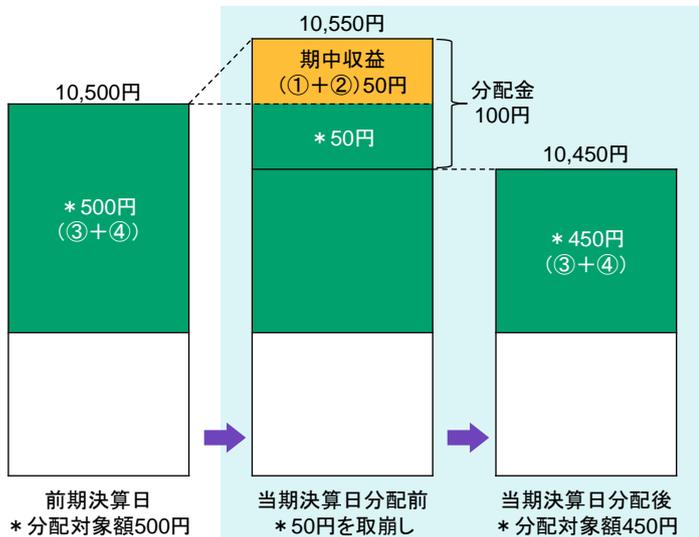


- 分配金は、決算期中に発生した収益(経費*1控除後の配当等収益*2および有価証券の売買益*3)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも決算期中におけるファンドの収益率を示すものではありません。

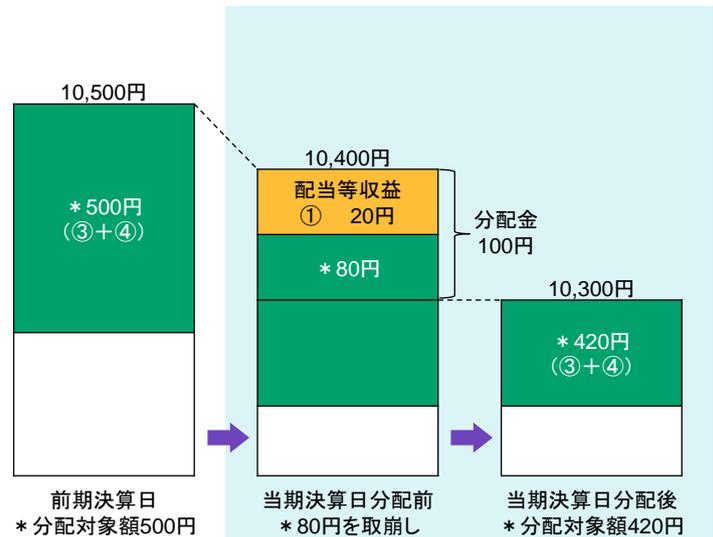
*1 運用管理費用(信託報酬)およびその他の費用・手数料をいいます。*2 有価証券の利息・配当金を主とする収益をいいます。*3 評価益を含みます。

決算期中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



前期決算日から基準価額が下落した場合

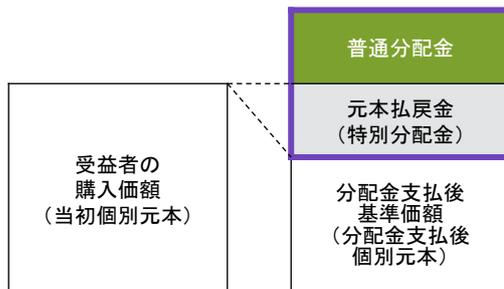


(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の有価証券の売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

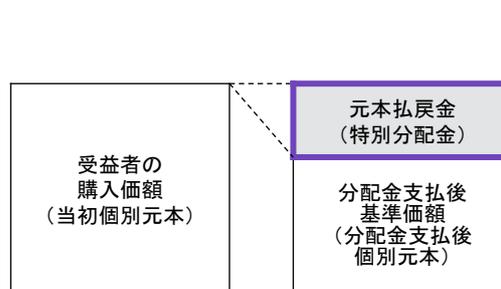
※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

- 受益者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分是非課税扱いとなります。

普通分配金: 個別元本(受益者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金): 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の受益者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

(注) 普通分配金に対する課税については、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」の「ファンドの費用・税金」をご参照ください。

※上記はイメージであり、個別元本や基準価額、分配金の各水準等を示唆するものではありません。

柔軟な運用で変化を続ける「アメリカの星」

投資リスク

ファンドの運用による損益はすべて投資者に帰属します。
投資信託は元本保証のない金融商品です。投資信託は預貯金と異なります。

当ファンドは、外国の株式を主な投資対象とし、また、その他の外貨建資産を保有することがありますので、株式市場、為替相場、その他の市場における価格の変動により、保有している株式等の円換算した価格が下落した場合、損失を被る恐れがあります。

基準価額の変動要因

ファンドは、投資先ファンドを通じて主に米国の株式に投資しますので、以下のような要因の影響により基準価額が変動し、下落した場合は、損失を被ることがあります。

下記は、ファンドにおける基準価額の変動要因のすべてではなく、他の要因も影響することがあります。

株価変動リスク	株式の価格は、政治・経済情勢、発行会社の業績・財務状況の変化、市場における需給・流動性による影響を受け、変動することがあります。
為替変動リスク	「為替ヘッジなし」は為替ヘッジを行わないため、為替相場の変動により投資資産の価値が変動します。

その他の留意点

- クーリングオフ制度（金融商品取引法第37条の6）の適用はありません。
- ファンドの流動性リスクが顕在化した場合、ファンドの基準価額が下がること、ファンドが他の投資機会を活用できなくなること、またはファンドが所定の期間内に換金代金の支払いに応じられないことがあります。

お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位とします。ただし、自動けいぞく投資コースにおいて収益分配金を再投資する場合は、1円以上1円単位とします。
購入価額	購入申込日の翌営業日の基準価額とします。
換金単位	販売会社が定める単位とします。
換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額とします。換金時に手数料はかかりません。
換金代金	原則として換金申込日から起算して7営業日目からお支払いいたします。
申込締切時間	原則として、購入・換金の申込みにかかる、販売会社所定の事務手続きが午後3時30分までに完了したものを当日の申込受付分とします。なお、販売会社によっては対応が異なる場合がありますので、詳細は販売会社にご確認ください。
信託期間	年1回決算型: 2021年1月25日から2044年1月25日(休業日の場合は翌営業日)までです。 毎月決算型 予想分配金提示型: 2021年1月25日から2031年1月25日(休業日の場合は翌営業日)までです。
決算日	年1回決算型: 毎年1月25日(休業日の場合は翌営業日)です。 毎月決算型 予想分配金提示型: 毎月25日(休業日の場合は翌営業日)です。
収益分配	年1回決算型: 毎年1回の決算時に委託会社が分配額を決定します。 毎月決算型 予想分配金提示型: 毎月の決算時に委託会社が分配額を決定します。 ただし、いずれも必ず分配を行うものではありません。
課税関係	課税上の取扱いは、「公募株式投資信託」となります。「公募株式投資信託」は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA(少額投資非課税制度)の適用対象となります。配当控除および益金不算入制度は適用されません。 年1回決算型: NISAの「成長投資枠(特定非課税管理勘定)」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。 毎月決算型: NISAの対象ではありません。 詳しくは販売会社にお問い合わせください。上記は2025年6月末現在のものです。税法が改正された場合等には変更される場合があります。

ご購入の際は、「投資信託説明書(交付目論見書)」および「目論見書補完書面」を必ずご覧ください。
購入・換金単位については、別に定める場合はこの限りではありません。

柔軟な運用で変化を続ける「アメリカの星」

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	手数料率は 3.3%(税抜3.0%) を上限とします。 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 (購入時手数料=購入価額×購入口数×手数料率(税込)) 自動けいぞく投資コースにおいて収益分配金を再投資する場合は、無手数料とします。
信託財産留保額	かかりません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	ファンド	ファンドの純資産総額に対して年率1.023%(税抜0.93%)がかかり、日々の基準価額に反映されます。
	投資先 ファンド	投資先ファンドの純資産総額に対して以下の費用がかかります。 米国株式ファンド:年率0.6%(注)消費税等はかかりません。 マネーパール・ファンド:年率0.1045%(税抜0.095%)
	実質的な負担 (概算)	純資産総額に対して 年率1.62%程度(税抜1.53%程度) がかかります。 米国株式ファンドに純資産総額の99.9%を投資した場合のものです。投資先ファンドの組入比率により、実際の負担と異なる場合があります。
その他の費用・ 手数料	「有価証券の取引等にかかる費用*」「外貨建資産の保管費用*」「信託財産に関する租税*」「信託事務の処理に関する諸費用*」「ファンドに関し委託会社が行う事務にかかる諸費用*」「その他ファンドの運用上必要な費用*」「米国株式ファンドの事務管理費用(同ファンドの純資産総額に対して上限年率0.16%)」「ファンド監査費用(純資産総額に対して年率0.022%(税抜0.02%)(上限)を乗じて得た額、または年額330万円(税抜300万円)のうちいずれか少ない額)」「目論見書、運用報告書等の開示資料にかかる事務費用、ファンドの計理事務にかかる費用、ファンドの受益権の管理にかかる事務費用等(純資産総額に対して上限年率0.088%(税抜0.08%))」 * 運用状況等により変動し、適切な記載が困難なため、事前に種類ごとの金額、上限額またはその計算方法等の概要などを具体的に表示することができないことから、記載していません。	

ファンドの費用の合計額は、ファンドの保有期間等により変動し、表示することができないことから、記載していません。

取扱販売会社について

■投資信託説明書(交付目論見書)は下記の販売会社で入手することができます。■登録番号に「金商」が含まれているものは金融商品取引業者、「登金」が含まれているものは登録金融機関です。■株式会社を除いた正式名称を昇順にて表示しています。■下記には募集の取扱いを行っていない販売会社が含まれていることがあります。また、下記以外の販売会社が募集の取扱いを行っている場合があります。■下記登録金融機関(登金)は、日本証券業協会の特別会員です。

2025年7月1日現在

金融商品取引業者等の名称	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人第二種 金融商品取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会
SMBC日興証券株式会社*	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○
株式会社 関西みらい銀行	近畿財務局長(登金)第7号	○			○
株式会社 埼玉りそな銀行	関東財務局長(登金)第593号	○			○
大和証券株式会社	関東財務局長(金商)第108号	○	○	○	○
株式会社 三井住友銀行*	関東財務局長(登金)第54号	○	○		○
株式会社 みなと銀行*	近畿財務局長(登金)第22号	○			○
株式会社 りそな銀行	近畿財務局長(登金)第3号	○		○	○

* JPモルガン・アメリカ成長株ファンド(為替ヘッジなし、年1回決算型)／(為替ヘッジあり、年1回決算型)のみのお取り扱いとなります。

※ 大和証券株式会社は上記の他に一般社団法人日本STO協会にも加入しています。

投資信託委託会社

JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第330号

加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

柔軟な運用で変化を続ける「アメリカの星」

本資料で使用している指数について

- S&Pの各指数は、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCが発表しており、著作権はS&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCに帰属しています。各インデックスの円ベースは、同社が発表した各インデックスを委託会社にて円ベースに換算したものです。
- ダウ工業株30種平均の知的所有権その他一切の権利は発行者であるCME Group Index Services, LLCに帰属します。発行者は原則として指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。各インデックスの円ベースは、同社が発表した各インデックスを委託会社にて円ベースに換算したものです。
- NASDAQの各指数は、The Nasdaq Stock Market, Inc.が発表しており、著作権はThe Nasdaq Stock Market, Inc.に帰属しています。
- MSCIの各インデックスは、MSCI Inc.が発表しています。同インデックスに関する情報の確実性および完結性をMSCI Inc.は何ら保証するものではありません。著作権はMSCI Inc.に帰属しています。

※J.P.モルガンは、JPモルガン・チェース・アンド・カンパニーおよびその各国子会社または関連会社のマーケティングネームです。

※J.P.モルガン・アセット・マネジメントは、JPモルガン・チェース・アンド・カンパニーおよび世界の関連会社の資産運用ビジネスのブランドです。

本資料に関する注意事項

本資料はJPモルガン・アセット・マネジメント株式会社(以下、「当社」という。)が作成したものです。当社は信頼性が高いとみなす情報等に基づいて本資料を作成しておりますが、当該情報が正確であることを保証するものではなく、当社は、本資料に記載された情報を使用することによりお客さまが投資運用を行った結果被った損害を補償いたしません。本資料に記載された意見・見通しは表記時点での当社および当社グループの判断を反映したものであり、将来の市場環境の変動や、当該意見・見通しの実現を保証するものではありません。また、当該意見・見通しは将来予告なしに変更されることがあります。本資料は、当社が設定・運用する投資信託について説明するものであり、その他の有価証券の勧誘を目的とするものではありません。また、当社が当該投資信託の販売会社として直接説明するために作成したものではありません。

投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客さまが負います。過去の運用成績は将来の運用成果を保証するものではありません。投資信託は預金および保険ではありません。投資信託は、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。投資信託を証券会社(第一種金融商品取引業者を指します。)以外でご購入いただいた場合、投資者保護基金の保護の対象ではありません。投資信託は、金融機関の預金と異なり、元本および利息の保証はありません。取得のお申込みの際は投資信託説明書(交付目論見書)および目論見書補完書面をあらかじめまたは同時にお渡ししますので必ずお受け取りの上、内容をご確認ください。最終的な投資判断は、お客さまご自身の判断でなさるようお願いいたします。